



キナシ大林病院

地域連携室だより

2020年
10月号

秋冷の候、ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「地域連携室だより」を作成いたしましたので、ご覧いただけましたら幸いです。

キナシ大林病院 地域連携室

〒761-8024

香川県高松市鬼無町藤井 435-1

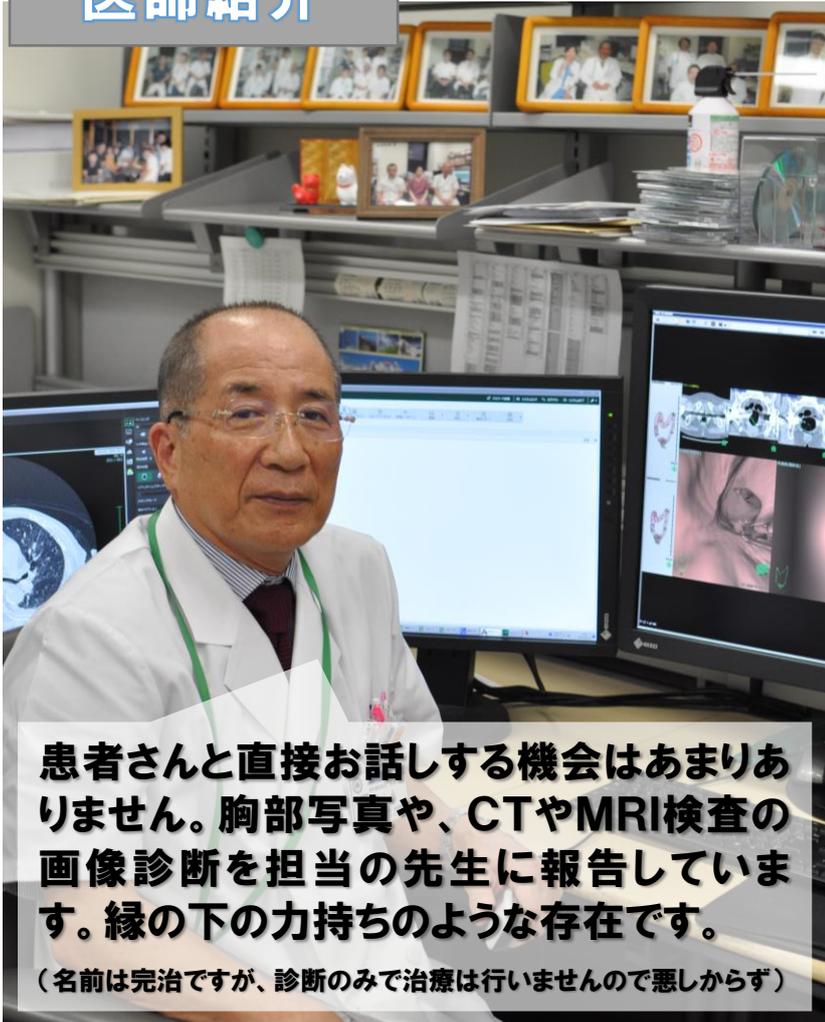
地域連携用 TEL 087-881-3676

医療相談用 TEL 087-802-6668

直通 FAX 087-882-3539



医師紹介



患者さんと直接お話しする機会はあまりありません。胸部写真や、CTやMRI検査の画像診断を担当の先生に報告しています。縁の下の力持ちのような存在です。

(名前は完治ですが、診断のみで治療は行いませんので悪しからず)

当院の画像診断（胸部写真などの放射線検査、CT、MRI、超音波検査、血管撮影など）を担当しています。「安全・安心の医療はまず正しい診断から」と言われます。撮影するだけで正しい診断ができるわけではありません。放射線科医の勤務している病院で安心して検査をうけてください。

病診連携：

当院では、医院、診療所からのCT、MRI、超音波検査、骨密度検査などの画像診断のご依頼を受け付けております。ネットでの予約も可能です（方法についてはご連絡ください）。320列CTによる心臓CT、大腸がん検診や内視鏡困難例のかたの大腸CTも行っています。

放射線診療科部長

児島完治 (コジマカンジ)

専門分野

放射線科診療科

認定資格等

- ・放射線診断専門医
- ・検診マンモグラフィ読影認定医師
- ・元超音波専門医
- ・元香川大学臨床教授

略歴

1975年 岡山大学医学部卒。
聖路加国際病院、西ドイツニュルンベルク市立病院、香川医科大学、香川労災病院を経て2004年から当院勤務。

あなたの受けたCTやMRI検査は

放射線科専門医による

チェック入っていますか？



- 弊害ケース① 検査適応の誤り
医師に誤った検査を指示し、不必要な検査を受けることになり、患者様の負担が増えます。
- 弊害ケース② 病変見逃し
主治医が自分の専門領域を中心に検査を指示し、その専門領域以外の病変が見逃され、写っていたとしても見逃がっている可能性があります。
- 弊害ケース③ 主治医が報告書を確認していない
この検査結果は病変の有無にかかわらず、必ず主治医に報告書が送付されています。

安心・安全の医療はまず正しい診断から！

連携実績

	紹介率	逆紹介率	紹介入院数		退院支援の状況				
			クリニック様からの紹介	病院様からの紹介	介護支援等連携指導料算定数	退院時共同指導料算定数	退院支援加算Ⅱ算定数	MSW介入患者数	退院患者数
R2/7	45.1%	33.0%	17	17	7	5	13	65	151
R2/8	38.2%	28.1%	22	25	9	2	9	62	125
R2/9	30.6%	26.9%	15	22	7	2	7	73	133

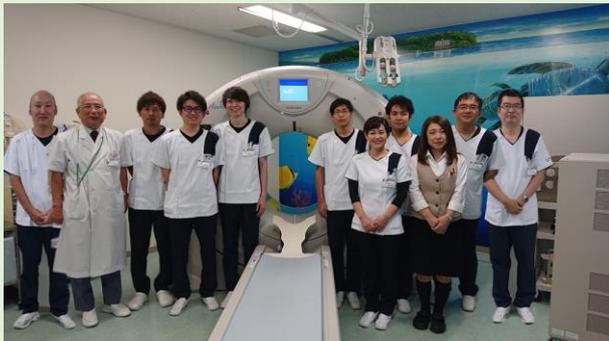
コロナ禍で初診算定患者が少なくなったことが幸いして紹介率が上がっていましたが、時間の経過とともにその効果が薄れ、9月には例年並みの紹介率に戻っています。患者さんのご家族さんや他機関の方との連携の機会が少なくなり、リモートの活用が診療報酬算定に生かすことができるようになることを期待しています。

部署紹介（放射線科）

当部署は、診療放射線技師 10 名と受付事務 1 名が在籍しています。CT・MRI・骨密度測定・マンモグラフィ検査等を、確かな技術で、親切・丁寧な対応をさせていただいております。

上記の画像検査のご依頼は、お電話一本で、検査予約を受け賜っております。空きさえあれば、当日でも予約対応いたします。

また 24 時間対応可能なインターネットからの検査予約もありますので、あわせてお問い合わせ下さい。ご紹介頂いた患者様は、画像データに結果を付けて 100%お返ししますので、近隣クリニックの方も安心してご利用ください。



地域ケア懇談会のご報告とお礼

先にご案内した通り、9月24日に初めての zoom での地域ケア懇談会を開催し、滞りなく終了しました。介護事業所様には定期的にご案内しますので今後もお付き合いください。また、当日いただいたご意見とそれに対するお返事内容を介護事業所様には添付しますので、参考にしていただければ幸いです。

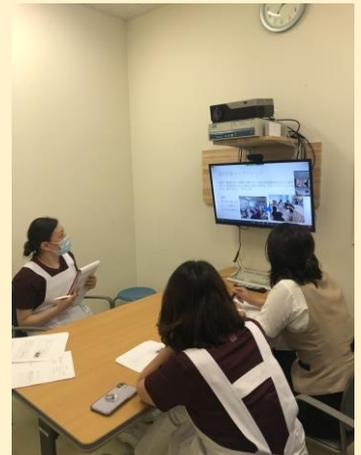
以下は主催してみた感想です。

よかった点

- ・ 会場の設営に時間と人手がかからない。省スペース！
- ・ 参加者は移動時間がかからない。

悩んだ点

- ・ 当初は参加者が増えず、やはりまだハードルが高いのかなと感じた。
- ・ クレジットカードしか使えない zoom pro の利用料金をどのように支払うか結論が出なかった。
- ・ 一台の PC を複数で利用している事業所がほとんどで、グループワークに持ち込みづらかった。



地域連携担当者より

藤澤孝雄 (7F 病棟・退院支援部門/社会福祉士)



不織布マスクを何日も使いまわしている。とだんだん口に当たるところがほつれて口に繊維がまとわりついてきます。わたしはそれを寿命としてマスクを交換しますが、そのサイクルが他の人より短い気がします。たぶんそれは食事等で顎マスクにすると、濃いひげがこすれるんだと思います。間にかますいい布マスクを物色中です。

林幸代 (地域連携・退院支援部門/看護師)



3月にコロナ騒動が起き、以後院内外で様々な変化がありました。思い返すとあっという間の8か月でした。次にこの地域連携だよりが発行される時には年も明けていると思いますが、状況が少しでも良くなっていることを祈ります。今はまだコロナ対応で何かと大変な中での連携にはなりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

桑原朝美 (6F 病棟/看護師)



たくさんの声をきいて、患者さんや家族の意向にできる限り沿った形での退院に繋がるお手伝いがしたいと思っています。至らない点が多いですが、今後ご指導よろしくお願いします。

稲毛ももこ (5F 病棟/ソーシャルワーカー)



気候が不安定で朝晩が冷え込んできました。地域ケア懇談会のご参加ありがとうございました。コロナの影響もあり？ネット環境はどんどんG長が進化させています・・・笑。本人と直接会えず、状況把握が不十分になってしまうことがありご迷惑をおかけしていると思います。ご要望・ご意見等ありましたらぜひおっしゃってください！改善していきます。よろしくお願いいたします。